ねんきんだより News Pensions

出産前後の国民年金保険料免除制度について

国民年金第１号被保険者が出産を行った際に、出産前後の一定期間の国民年金保険料が免除されます。産前産後期間として認められた期間は、保険料を納付したものとして老齢基礎年金の受給額に反映されます。

○免除期間

出産予定日または出産日が属する月の前月から４か月間の国民年金保険料が免除されます。なお、多胎妊娠の場合は、出産予定日または出産日が属する月の３か月前から６か月間の国民年金保険料が免除されます。

○対象となるかた

国民年金第１号被保険者

○届出方法

太田年金事務所または住民環境課戸籍年金係へ届出（出産予定日の６か月前から提出可能です。）

○必要書類

母子健康手帳（出産予定日が分かるもの）、本人確認書類（運転免許証など）

問合せ　太田年金事務所 ☎４９－３７１６

消費トラブルにご注意！

配水管高圧洗浄サービス高額請求に注意！

【事例】

「配水管高圧洗浄が３千円」と書かれた投げ込みチラシを見て、電話で依頼した。作業が行われたが約４万円を請求され、仕方なく支払った。後日、同じ業者が訪れて「汚水升を変えた方がよい」と言われ、見積書を渡された。約22万円で高いと思ったが契約してしまった。クーリング・オフしたい。（７０歳代）

【ひとこと助言】

低価格を強調した広告を見て、配水管の高圧洗浄を依頼したところ、業者からさらなる点検や工事などを勧誘され、高額な費用を請求されたという相談が寄せられています。

点検や工事などに関する専門的な技術や知識がない消費者が、突然提案された作業の料金や内容の妥当性を判断することは難しいため、無理にその場で判断しようとせず、少しでも違和感を覚えたときは作業を断るようにしましょう。

地域の工務店など、安心して依頼できる事業者の情報を日ごろから集めておきましょう。

クーリング・オフができる場合がありますので、困ったときは、早めに消費生活センターにご相談ください。

相談は消費生活センターまで　☎８２－７８３０（ナヤミナシ）

休日当番医

期日	内科系		外科系	耳鼻科
５月３日（祝）	まりレディスクリニック ７６－７７７５	神尾内科医院 ７５－１２８８	田沼整形外科医院 ８８－９２２３	－
５月４日（祝）	森下内科医院 ７３－７７７６	藤原医院 ８８－７７９７	高木整形外科（午前のみ） ６２－６６１１	－
５月５日（祝）	県西在宅クリニック舘林 ５５－３８１８	たけい小児科・アレルギー科※ ７６－２５２５	井上整形外科医院 ８２－１１３１	－
５月６日（振休）	後藤内科医院 ７２－０１３４	こやなぎ小児科※ ８０－２２２０	ふじの木整形・内科クリニック ９１－４０７０	－
５月12日（日）	湯沢医院 ６２－２２０９	長谷川クリニック ８０－３３１１	館林市夜間急病診療所 ７３－２３１３	－
５月19日（日）	新井内科クリニック ２０－１２２０	小児科おぎわらクリニック※ ６１－１１３３	しんじょう整形外科クリニック ５５－３６２３	川村耳鼻咽喉科医院 ７２－１３３７
５月26日（日）	大泉町泌尿器科内科 ６３－７８００	小西医院 ８６－２２６１	堀井乳腺外科クリニック ５５－２１００	－
６月２日（日）	まりレディスクリニック ７６－７７７５	多々良診療所 ７２－３０６０	富士クリニックペインクリニック ２０－１９７１	板倉耳鼻咽喉科クリニック ８０－４３３３
６月９日（日）	いたくら内科クリニック ７０－４０８０	真中医院 ７２－１６３０	田沼整形外科医院 ８８－９２２３	－

歯科

館林邑楽歯科保健医療センター
７３－８８１８
午前９時～正午

◆緊急　公立館林厚生病院（内科系・外科系）　☎７２－３１４０
◆コロナに関すること　館林保健福祉事務所 ☎７２－３２３０（平日午前８時30分～午後５時15分）
群馬県新型コロナウイルス感染症受診相談センター　☎０５７０－０７０－５６７（館林保健福祉事務所の受付時間外）
◆夜間　館林市夜間急病診療所（内科・小児科）午後７時～10時（日・祝、年末年始除く）
☎７３－２３１３（要受診前電話連絡）

●診療時間は、午前９時～午後５時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時）　●内科系の※は、小児科のみとなります。
●受診前に必ず医療機関に電話で確認してください。　●救急テレホンサービス　☎７３－５６９９：受診可能な病院を紹介しています。
●感染症の流行状況により、電話がつながりにくい場合や診察に時間を要する場合があります。あらかじめご了承ください。

Face フェイス

今できることを目の前の人に尽くしたい

音楽の力で人々の生活が活き活きと輝いてほしい

松岡理枝さん

まつおか　りえ　　60歳
板倉町在住

美味しいものを食べることが好きであるという松岡さん。横浜生まれ横浜育ちということもあり中華料理が好物だそうです。
愛犬を飼っていて、板倉町ののどかな景色を眺めながら散歩することが癒やしの時間だそうです。

レポーター
広報編集委員
國府圭美（こくぶたまみ）

３歳で１００曲歌えるように

幼い頃から、歌うことが大好きだった松岡さんは、小学校の担任の勧めもあり、小学５年生から中学３年生まで合唱団に所属していました。当時、担任が指揮者をしていてその姿に憧れ、小さな分校の先生になれたらいいなと思ったこともあるそうです。

声楽を学ぶことに没頭

高校では、音楽は封印し、テニス部に所属してスポーツに打ち込み、卒業したら就職するつもりでした。そんな中、同級生に音楽の授業での歌の発表を絶賛され、音大へ進学することを勧められました。松岡さんも歌についてもっと学びたいと思うようになり、高校２年生の冬に音大への進学を決めました。しかし、それまではクラシックを聴いたこともなく、とても苦労しました。ひたすら、無料コンサートに行き、声楽の知識を詰め込む生活を送り、無事に合格。音大での７年間は、声楽の魅力に夢中になり、充実した日々を過ごすことができたそうです。

その後は、多くの人に声楽の素晴らしさを伝えたいという気持ちから、５年間毎月コンサートを開き、歌う喜びと聴く楽しみを届け続けました。

輝く人生を送るための手助け

現在は、東京と横浜のスタジオでヴォイストレーナーとして１対１のレッスンを行っています。相手が悩みや困りごとを抱えているとその状況を感じ取ることが得意な松岡さんは、その日のその人に合わせた指導をするそうです。身体が楽器なので、その楽器を作るための発声などの基礎を教え、自分らしく活き活きと生きていける手助けができることが、今は天職と感じているそうです。

次回のリサイタルは、声種を変えて初めてのコンサートということで、新たな挑戦にわくわくしている様子でした。